

北海道浮魚ニュース

令和元（2019）年度 23号

2019年10月31日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第2回太平洋スルメイカ中短期漁況予報発表される

10月31日、漁業情報サービスセンターより、第2回太平洋スルメイカ中短期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は太平洋海域を対象とした2019年11月の予報です。

なお、この予報は国及び太平洋側道県の水産研究機関が参画し、漁業情報サービスセンターがとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のサイトでご覧になれます。

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部 (<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>)

今後の見通し（2019年11月）

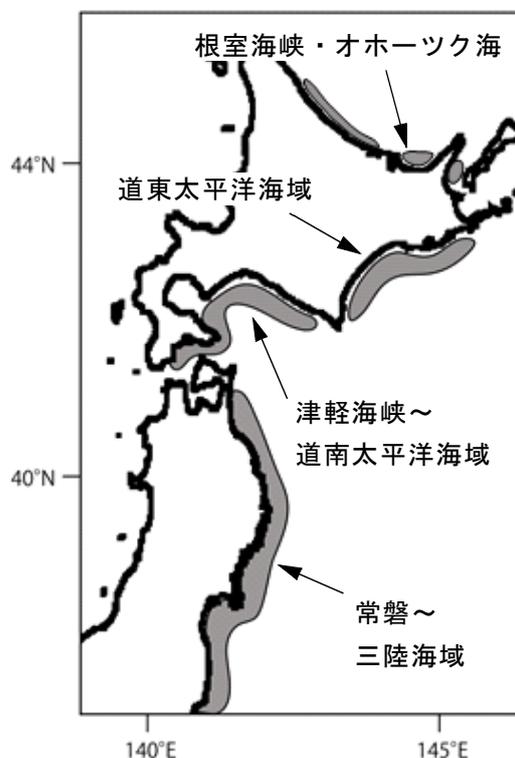
対象魚種：スルメイカ

対象海域：道東太平洋海域、根室海峡～オホーツク海、津軽海峡～道南太平洋海域、常磐～三陸海域

対象漁業：いか釣り、底びき網、定置網、まき網

対象魚群：冬季発生系群（2019年級群）

- ・道東太平洋：（いか釣り、底びき網）来遊量は前年並に少ない。漁場形成は散発的となり、11月で終漁となる。
- ・根室海峡～オホーツク海（いか釣り、定置網、底びき網）：来遊量は前年を上回る。明瞭な主漁期がないまま終漁する。
- ・津軽海峡～道南太平洋海域（いか釣り、定置網）：来遊量は前年を下回る。対象期間を通じて漁場となる。
- ・常磐～三陸海域（いか釣り、底びき網、定置網、まき網）：来遊量は前年並に少ない。対象期間を通じて漁場となる。



※文中の「前年」は2018年のことです。

・漁況は、第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報（浮魚ニュース第21号）、及び8月に実施した釧路水試の調査（浮魚ニュース第15号）、8月～9月に実施した太平洋第2次漁場一斉調査（函館水試分は浮魚ニュース第14号）、各地の漁況経過等から予測されました。

・10月上旬～中旬の道東太平洋及び道南太平洋の漁獲量はともに前年を下回りました。11月の道東太平洋の来遊量は前年並に少なく漁場形成は散発的、津軽海峡～道南太平洋の来遊量は前年を下回ると予測されます。

・羅臼港における10月上旬から中旬の漁獲量は前年を上回りましたが、11月の根室海峡～オホーツク海域への来遊量は前年を上回るものの低水準で、明瞭な主漁期がないまま終漁すると予測されます。